



令和7年度 第17号

2025年度 運動会



☞ 降水確率は1日を通して0%…「正に運動会日和」のこの日は、まぶしい朝日からスタートしました。



☞ 朝から閉会式まで、多くの来賓の方々が応援してくださいました。



☞ 選手宣誓の様子です。小学部と中学部の代表がそれぞれ、この日の運動会にける熱い気持ちを伝えてくれました。

☞ 子供たちが右手を高々と天に突き上げている姿に、運動会に対する意気込みを感じます。本気で勝ちたいと願っているからこそ、「心技体」が育っていくのだと思います。



《JSB ストレッチ体操》



SEKAI NO OWARI 「RPG」の軽快なリズムに合わせ、全校児童・生徒で「JSB ストレッチ体操」を行いました。運動会という舞台では、誰もがいつも以上に力を発揮しようとするから、その前の準備運動は欠かせませんね。先生たちもアキレス腱を伸ばしています。切れたら大変ですものね…

《エール交換》

いつもは仲のよいクラスメイトではありますが、この時ばかりは譲るわけにはいきません。団長として団の名誉をかけ、赤団、白団の健闘を願って大きな声で団の士気を鼓舞します。



最後に互いの団のよさを認め合いそれを伝え合うところは、スポーツマンらしくて素敵だと思いました。

《 呼び名は同じ「トチの実」ですが… 》

本校の正門を入って左側に大きな木があります。この木は、JSB のシンボルともいえる「マロニエ」の木です。大きく特徴的な葉っぱは校章にも使われていますし、その名前はPTA 主催の「マロニエ祭」として JSB 関係者にはお馴染みです。（実は教職員の親睦会も「マロニエ会」といいます） そんなマロニエの木が、最近実を付けています。「とんがりのない栗の実（写真①）」といった雰囲気



【写真①】



【写真②】

はがれ落ちて（写真③）いくようです。強風の翌朝、校門の周辺では「マロニエの実」拾いを楽しんでいる子供がたくさんいます。食べられないけれど、楽しいですね。

のマロニエの実は、ネットで調べてみると、「トチの実」と呼ぶそうです。「トチの実？」と聞いて岐阜県飛騨地方の名物「栃の実せんべい」を思い浮かべてしまうところですが、同じ「トチの実」でも種類が違います。「栃の実せんべい」に使われているのは「栃の木」に実ったもので食用にできますが、マロニエに実った「トチの実」は毒性があり食べられないそうです。ややこしいので「マロニエの実」と呼びますが、この実は栗に似ているだけあって「イガ（写真②）」に包まれています。そしてその「イガ」は、落下して地面に叩き付けられた衝撃で



【写真③】